

パネルディスカッション

介護予防事業の実践の立場から

東広島市社会福祉協議会企画福祉課 社会福祉士 山原 丈佳

介護予防とは、要介護状態になることをできる限り防ぐ（遅らせる）こと、要介護状態であっても、状態がそれ以上に悪化しないようにする（維持・改善を図る）こととされています。

この「介護予防」をすすめるためには、個別ニーズに応じた様々な介護予防サービスの提供が当然必要になりますが、一方では、専門職等による直接的なサービスによらない方法で、高齢者の介護予防を促進することもできます。

ここでは、社会福祉協議会が重点的に取り組んでいる「地域サロン」活動などの取り組みを通して、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために必要な「住民参画による支え合いの地域づくり」について発表します。

1. 介護予防に必要なこと

- 必要なサービスの提供
- その他には何がある？ ～ここが社協活動のポイントか!?!～

2. 「地域サロン」活動の取り組み

- 地域サロンとは？
- 地域サロンは介護予防サービスか？
 - 「担い手」と「受け手」
 - 「参加」と「参画」
- 地域サロンが個人や地域にもたらす様々な効果（効能）

3. 地域包括支援センターとの連携・協働